

次世代へつなぐ平和への願い 米原市平和祈念式典開催



令和6年
米原市平和祈念式典

市民の新たな平和の拠点
「平和の礎」にて平和祈念
式典を開催しました

6月24日、平和の尊さと戦争の悲惨さを次世代に引き継ぎ、世界の恒久平和を願うため新たに整備された「平和の礎」で米原市平和祈念式典が執り行われました。

平和の礎に設置されている刻銘板には、戦争で犠牲になった方々の死を悼み、尊い命を忘れないため、米原市遺族会が保有する戦没者名簿などに記載された方々に加え、市内外から刻銘を希望された戦争犠牲者の方々、併せて1677人のお名前が刻まれています。



また、献花台の奥には米原市が平成17年6月24日に宣言した非核・平和都市宣言文が刻まれています。この宣言文は、毎年平和祈念式典において市内の子どもたちによって読み上げられ、今回の式典では、柏原小学校、山東小学校、大原小学校の児童と、柏原中学校、大東中学校の生徒の皆さんにより朗読されました。

非核・平和都市宣言文が朗読された後、市長の式辞に続き、米原市遺族会の瀬戸川恒雄^{せとがわ ことお}会長が、呼びかけの言葉として戦没者への追悼の意を表されました。



平和への願いを込めて

終戦から79年が経過し戦争を経験した世代が減り、当時の体験を直接聞ける機会が失われてきている今、戦後を生きた私たちは、戦争の愚かさや悲しみ、そして、核兵器の恐ろしさを改めて認識し、平和の大切さや尊さについて、次代を担う子どもたちへ継承していかねばなりません。

市では平成17年に「非核・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴え、これからも子どもたちへ平和の尊さを提唱していきます。

☎ 市 総務課
5315164
FAX 5315148

第1回きらめき人権講座

内容 広島・原爆被爆体験伝承者を招き、被爆体験や平和への思いなどの講演会

日時 8月9日(金)15時から

受講 無料

場所 米原市役所本庁舎
コンベンションホール

☎ 市 生涯学習課
5315154
FAX 5315129

米原市 非核・平和都市宣言

私たちのまち まいばら には
青い空と緑にはえる山々
清流のせせらぎ
みのり豊かな田園
母なるめぐみの湖(うみ)がある

まちかどや広場には
子どもたちの歓声が
若者たちの歌声が
軒先からは人々の
静かな語らいがきこえてくる

遠く海をこえた かなたにも
同じ人々のくらしと
しあわせがある

しかし 今
地球をおおう核の脅威は
あらゆる命のいとなみを破壊し
かけがえのない平和を
一瞬にして 奪いさろうとしている

私たちは 知っている
核兵器が
生きとし生けるもの
すべてを破滅しつくして
何も もたらさないことを

私たちは 知っている
すべての人間が手をつなぎ
平和な明日に向かって
力をよせあうことが
どんなに大切で
すばらしいかを

悲惨なヒロシマ ナガサキの体験から
核兵器を
「持たず 作らず 持ち込ませず」の
非核三原則を全世界に訴え
戦争の放棄 恒久の平和を誓った
平和憲法を
私たちは 守ります

人々の明日にとって
子どもたちの笑顔が
若者たちの明るい未来が
いきいきとした命のいとなみが
永遠に続くことを願っている

私たちは 訴えます
核を持つすべての国々に
すべての核兵器を 今 すてよ！と

この市民の声と 願いを
世界に広く訴えるため
ここに米原市は
「非核・平和都市」を宣言する

平成17年6月24日
米原市

出席者による献花が行われた後、平和への賛歌として山東幼稚園と大原保育園の園児による歌が披露されました。そして式典の最後には、平和への願いを込めた風船を参加者全員で空高く放ち、式典を締めくくりました。

平和の礎は、今後市民の皆さんにも平和への祈りの場として自由に参拝していただけるほか、市内小中学校の平和学習の拠点として活用していく予定です。

☎ 市 社会福祉課
5315121
FAX 5315128



◀伊吹山テレビ7月12日号でも平和祈念式典の様子を紹介しています

